

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ハーツクライ産駒がJRA通算1000勝を達成

9月14日(土)の4回阪神3日・第9レースとして行われた野路菊Sではマイラプソディが1着となり、ハーツクライ産駒のJRA通算勝利数が1000勝となりました。これはJRA史上21頭目の記録となります。

●チョウカイキャロルが死亡

9月12日(木)、チョウカイキャロル(牝28歳)が死亡しました。同馬は1994年にデビューし、同年の優駿牝馬(オークス/G I)を制するなどJRA通算12戦4勝の成績を残して1995年に引退、繁殖入り。繁殖からも引退した後は北海道浦河町の谷川牧場に繋養され余生を送っていました。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表分は2019年1月1日から9月8日までに実施された世界の主要レースが対象で、新たにヨークシャーオークス、インターナショナルS、バーデン大賞などが含まれています。ランキングトップはヨークシャーオークスを完勝し、前回の第2位から順位を上げたエネイブル(128)。以下、前回首位だったクリスタルオーシャン(127)、バーデン大賞圧勝のガイヤース(126)と続きます。日本調教馬では前回までのウインブライトに加え、札幌記念を勝ったブラストワンピースが新たに掲載されました。両馬とも120で第20位タイとなっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●3歳馬クリソベリルが日本テレビ盃(船橋)で人気に応える

日本テレビ盃(Jpn II、9月23日、船橋、1800m)は、4番手を進んだクリソベリル(川田将雅騎手、牡3歳、父ゴールドアリュール)が、逃げたロンドンタウンをゴール前200m地点の手前で捉えて4馬身突き放し、単勝1.1倍の支持に応じてデビュー以来の連勝を5に伸ばしました。2番人気のノンコノユメ(大井)が3着、ヒラボクラターシュは6着、3番人気のアポロケンタッキーは8着でした。

●西日本ダービーは地元高知のアルネゴー【各地の主要3歳重賞】

西日本ダービー(9月16日、高知、1900m)は、後ろから2頭目という位置から追い上げた3番人気のアルネゴー(牡、父ローレルゲレイロ)が直線半ばで差し切り、4度目の重賞制覇を果たしています。

●コバノキッキングらが参戦、10月2日の東京盃(大井)

東京盃(Jpn II、10月2日、大井、1200m)は、コバノキッキングが筆頭格、次いでサクセスエナジー、ブルドッグボス(浦和)、グラントボヌール、ヒザクリゲ、ニホンピロタイドの順に有力です。

●10月1日の白山大賞典(金沢)で連覇を目指すグリム

白山大賞典(Jpn III、10月1日、金沢、2100m)は、昨年の覇者グリムが中心、以下デルマルーヴル、リアンヴェリテ、テルベリオン、ノーヴァレンダまでが争覇圏内と考えられます。

●ウィーンソナタらが出走、10月10日のエーデルワイス賞(門別)

エーデルワイス賞(Jpn III、2歳牝馬、10月10日、門別、1200m)は、JRA所属馬はウィーンソナタ、デビルスダンサー、ニシノミンクス、キラットダイヤという序列になりますが、プリモジョーカー、アザワクラの地元北海道勢が強敵です。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ペンシルベニアダービー〜伏兵マスウィザードが制す

9月21日にアメリカ・ペンシルベニア州のパークスレーシング競馬場で行われたG1ペンシルベニアダービー(3歳、ダート1800m)は単勝32.1倍の5番人気(6頭立て)だったマスウィザード(牡3歳、父アルゴリズムズ、S.ジョセフJr.厩舎)がI.オルティスJr.騎手を背に差し切り勝ち。重賞初制覇をG1で飾りました。G1プリクネスSの勝ち馬ウォーオブウィルは先行して3着。2歳時にG1勝ちがあり、1番人気に推されたインプロバブルはスタートが悪かったことも響いたか4着でした。なお、G1ケンタッキーダービーで1位入線も17着に降着となったマキシマムセキュリティはレース当週に疝痛を起こして出走を取り消しています。

●G1ジョージメインS〜アヴィリオスが差し切る

オーストラリア・ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で行われたG1ジョージメインS(3歳以上、芝1600m)はK.マカヴォイ騎手騎乗のアヴィリオス(騾5歳=現地年齢表記6歳、父ビヴォタル、J.カミングス厩舎)が最後方からの追い込みを決めて優勝。今年3月のG1ランヴェットS(芝2000m)とG1タンクレッドS(芝2400m)に続く3つ目のG1勝ちを収めました。